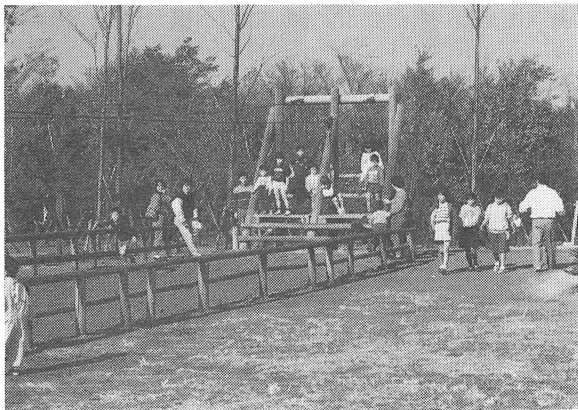




ゆり北

第80号 (8期第7号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

ずっと住み続けたいが家賃が重い!!

自治協・団地の生活と住いのアンケートまとめ

全国公団住宅自治会協議会の九〇
全国統一行動の一環として行った
『団地の生活と住いのアンケート』
のゆり北の集計がまとまりました。

賃貸住宅三四一戸を対象にして調
査票を配布、一二二戸の回答が寄せ
られました。ご協力に感謝いたしま
す。

おもな回答は次の通りです。
Q 6 暮らしの中で、気がかりなこ
とは何ですか。(複数回答)

一位 住宅問題・家賃や建替えなど
九一戸(七四%)

二位 老後問題 七一戸(五八%)

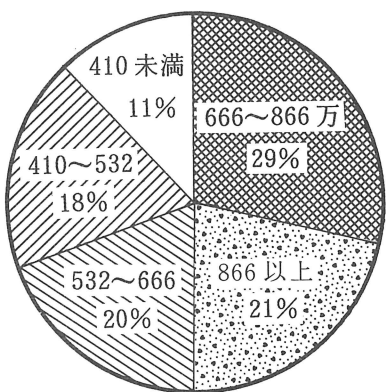
三位 物価・税金、六五戸(五三%)
以下は、年金・社会保障、食品・
水質など環境問題、病気・医療、受
験・教育費など教育問題と続きます。

Q 9 現在の家賃負担について、ど
のように感じておられますか。

たいへん重い、五六戸、やや重い
四二戸と、重いと感じている世帯は
八〇%と圧倒的に多数です。

Q 10 住宅の室内修繕で、希望する
ものはどれですか。(複数回答)

一位 たたみ床の取替え 六一戸



Q 7 世帯の所得区分 (単位万円)

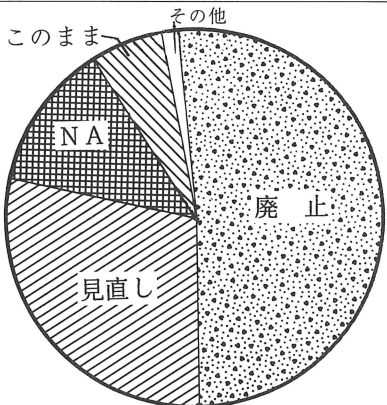
(五〇%)
二位 室内壁紙の破れ 五八戸(四
八%)

三位 ふすまの張り替え 四一戸
(三四%)
以下は、結露防止、室内壁の塗装
と続きます。

Q 11 居住水準の向上のための設備
改善について実施してほしいもの
(複数回答)

一位 B S アンテナの設置 六三戸
(五二%)

二位 洗面台の改善、四七戸(三九
%)



Q 14 消費税について

三位 トイレの温水器便座、四四戸
(三六%)

また高齢者対策として浴室・トイ
レ・階段などのすり、緊急ベル、
団地内や室内の段差の解消を求める
声が強まっています。

Q 13 今後の住まいについては、家
賃の値上げの不安や狭さが解消され
ば『公団住宅に永住する』が一番多
く、六三戸(五二%)、次いで『こ
の団地に長く住みたい』二九戸(二
四%)と四分の三が永住を希望して
います。

自由意見では、

① 家賃の値上げは絶対反対。

② 年金生活になったらこの団地に
住めなくなる。

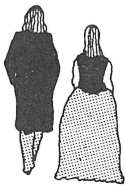
③ 公団の言う所得六百万円の十七
%の家賃負担では高すぎる。

④ 都営住宅では家賃に消費税がか
からないのに、公団ではかかるの
は不公平だ。

⑤ 駐車場の設置がお座なりで、何
年も『空き待ち』で、腹立たしい。

⑥ イベントだけでなく、自転車の

見が寄せられています。
自治会では、このアンケートの結
果を、公団への要望や日常の自治会
活動に反映させて行きたいと考えて
おります。会員の皆様のご協力をお
願いします。



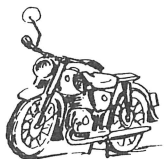
防災体験学習にチャレンジ

八号棟 清水 きよ子

十一月十一日(日) 池袋防災館に
行ってきました。体験学習は四階・
五階で行なわれます。まず、「救急
コーナー」では人形を相手に人工呼
吸のしかた。正確に息を吹き込んで



第一回目荷札つけ 十一月二十五日(日)
第二回目荷札つけ 十二月 九日(日)
不用自転車回収 十二月 十六日(日)



☆団地内の自転車・バイクに荷札をつけます
ので、使用している自転車等については、
各自で荷札を取りはずして下さい。
☆荷札が2枚ついた自転車・バイクは不用と
みなして、回収・保管した後、処分するこ
ととします。

☆自転車・バイクの盗難
やいたずらが発生して
います。不審な者を見
つけたら、すぐ警察へ
連絡しましょう。
高島平警察署
九七九〇一一〇

大そうじ会のお知らせ

今年も余すところ、一カ月足ら
ずとなりました。団地内をきれい
にして新年を迎えたいものです。
皆さんで大そうじをしましょう。

十二月十六日(日) 午前十時より

☆五号棟前でそうじ用具を渡します。
☆そうじ終了後、おしるこ、甘酒
を用意しています。

是非「ゆり北」に投稿を!!

本号より二十一世紀のテーマ
を掲載して行きます。問い合わせ
せ先

三一四〇四福田 ☎ 975-1241-3
十一九〇五竹内 ☎ 977-1934-0
十四一四〇九堤 ☎ 977-1728-3
一六〇五島田 ☎ 975-1573-3

モラルは人間の心の問題です

十一号棟の皆さんへ！
過日、こんなことがありました。

「モラル」や「しつけ」の問題についていろいろな報道記事を目にします。とくに、田舎より都会において、その傾向が強いことも指摘されています。

過日、十一号棟ではこんなことがありました。

ある階で、よその家のドア前に、朝早く「生ゴミ」の入ったゴミ袋が放置されていました。また、しばらくすると、こんどは別の家の前に同様にゴミ袋が置かれていました。

さらには、掃除のおばさんから、こんな苦情を聞きました。それは、十一号棟はご存知のように、三棟が少しずれた形で集合して建てられています。その棟との間には、およそ二メートル位のすき間があり、その中には人が出入りできないように鉄

の柵で囲まれています。ところが、誰かが、そこに生ゴミの入った袋を上から投げ落とすのです。勢いも加わって、ゴミ袋は破れ、さらにそれをネコが喰い散らかす。それを掃除のおばさんが仕方なく後片づけをする。これも、一度だけではなかったようです。

このように、心もとなない大人なのか、それともこうした親に育てられた心寂しい子どもなのかわかりませんが、お互いが、団地という集団生活を営んでいるわけですから、多少不快に思うようなこともあるでしょうが、今回の「生ゴミ問題」は、ちょっとばかり悪質なので、あえて問題指摘をしておきます。

心あたりの当事者さん！ 早く心の病気を治して下さいネ！

フトン叩きはやめましょう！

日曜日の午後三時頃、陽当たりでいい気持ちでまどろんでいると、とたんに『オキロー』と言わんばかりにパンパンパンとけたたましい音。そうすると待ってましたとばかりにあちろちろからフトン叩きの合奏が始まる。これが高層住宅にこだまするからたまらない。

だいたい前だったが、公団の機関紙で、たしか横浜のほうの団地でフトン叩きがその団地内の禁止事項とし

て取り上げられたと言う記事を読んだことがある。さらに、十一月の光が丘のコミュニティ誌にも同じような投稿があった。

フトン叩きは近所迷惑になるばかりか、フトンが畳のようにホコリをいっぱい吸っている訳でなし、叩くことによって、かえってフトン綿が切れたりする。フトン叩きは百害あって一益なし、干したフトンはいざいざホウキのようなもので、かるく

本大会に参加して

一号棟 竹内千恵子

「ワアーすごい。でっかいぞ。見て見て」と、大騒ぎ。回りの子供達は、うらやましそうな顔をしながら「ぼくも大きいのを掘るぞ。」と頑張ります。

十二月二十日「こどもいも掘り大会」に、自治会の引率者として子供と一緒に参加しました。最初は、手を汚さないようにと、シャベルで丁寧に掘っていました。でもそのうち、シャベルを放り出して素手で掘りはじめました。手も

こどもいも掘り大会

足も顔も土だらけにして、みんな、ほんとうに楽しそうでした。

どうやって持って帰ろうかと心配になるくらい、いもがとれました。でも、子供達は「自分が掘ったのは自分で持つ。」と、大きい袋を引き

おいもたくさんとれたよ！

二年 竹内 傑

きょうは、楽しいおいもほり。ぼくは、さいしょのうち、小さいのしかとれなかったけど、だんだん大きいのがとれてきて、うれしかったです。おわってから、ふかいしいをもらいました。あまくて、おいし



歳末パトロールを実施します！

年末恒例の歳末パトロールを十二月二十日(木)より三十一日(月)まで実施します。

なお、歳末パトロールの当番表については下表を参照して下さい。自治会役員、自治委員・世話人のご協力をお願いします。

一号棟 島田 浩

表面のゴミを落とすくらいでよいと、ものの本に書いてあった。世のフトン叩きでストレス発散？、せめてもの日曜の昼下がり、一週間の疲れを癒しているビジネス战士のために、フトン叩きはやめていただけないでしょうか。

二十一世紀を皆さんと考える！

二十一世紀とはグローバル化された社会と考えられ、現在の各国の政治・経済・実生活・環境の差をどう

「うめていく」かという一九九〇年代の苦しみを越えた、相当程度の高い社会が実現できるものと推定されています。そこで本号より二十一世紀について皆様と話していきたいと考えています。本号では特に各国の「余暇」の考え方について述べます。

アメリカ人は「お金や成功のために働き」、ドイツ人は「休むために働き」、フランス人は「余暇を楽しむために働く」という。そして日本人は「働くために休む」といわれている。日本人はもっと休むべきだ、もっと余暇をたのしむべきだといわれて久しい。では日本人の余暇のたのしみ方の実態はどうであろうか。

歳末パトロール当番表

実施日	自治会	管理組合
12/20(木)	1号棟役員・自治委員・世話人 (6名)	野口、宮川
21(金)	2 (6名)	渋谷、黒川
22(土)	3 (6名)	種村、秋山
23(日)	4 (6名)	種村、秋山
24(月)	5・6 (7名)	保坂、長尾
25(火)	7・8・9・10 (8名)	黒川、長尾
26(水)	10 (8名)	峯田、大井
27(木)	11 (8名)	峯田、大井
28(金)	11・12 (7名)	保坂、下別府
29(土)	13・14 (9名)	岩崎、下別府
30(日)	有志	岩崎、宮前
31(月)	有志	渋谷、野口

編集後記

欧米の余暇の過ごし方をマネる前に、もうわれわれもここ迄登って来たのだから、今までのようにそうがつがつせずに気持ちに余裕を持ちましょう。そして日本人なりの余暇の過ごし方を考えましょう。



寒い朝、踏む落ち葉の音を感じていると思うが、足早に駅に向かう姿が多くなってきました。一年のたつのは早いもので、もうオーバー姿が似合う冬。云々と皆様方の気持ちも冬突入という状況だと思います。

本会報も、本号をもって今年最終号となります。今年一年顧みますと地球規模で色々なことが起こりました。来年も今年と同様に、今まで当然視されていたものが変革されていくのではないのでしょうか。皆様のご健康をお祈りします。

広報部一同